

伊那市

社会教育委員 だより



▲狼煙上げの様子（富県地区）

TOPIX

- 令和 4 年 4 月 22 日 第 1 回定例会（伊那市役所）を開催しました。
- 令和 4 年 6 月 15 日 長野県社会教育委員連絡協議会総会（伊那市役所リモート開催）に参加しました。
- 令和 4 年 7 月 4 日 諏訪・上伊那地区社会教育委員連絡協議会合同研修会に参加しました。
（国立信州高遠青少年自然の家）
- 令和 4 年 8 月 23 日 第 2 回臨時会（伊那市役所）を開催しました。
（会議後、社会教育委員発！我がまちいいとこ10選研修視察 2 か所）
- 令和 4 年 8 月 25 日 地域連携・協働フォーラム（伊那市役所リモート開催）に参加しました。
- 令和 4 年 9 月 15 日 長野県社会教育研究大会（伊那市防災CCリモート開催）に参加しました。
- 令和 4 年 11 月 11 日 上伊那社会教育関係者懇談会（伊那公民館）に参加しました。
- 令和 4 年 11 月 24 日 第 3 回臨時会・伊那市教育委員との懇談会（伊那市役所）を開催しました。
（会議前、社会教育委員発！我がまちいいとこ10選研修視察 2 か所）
- 令和 4 年 12 月 13 日 上伊那地区社会教育委員研修会（箕輪町文化センター）に参加しました。
- 令和 5 年 3 月 20 日 第 4 回定例会（伊那市役所）を開催しました。
（会議後、社会教育委員発！我がまちいいとこ10選研修視察 1 か所）



伊那市生涯学習基本理念

— 歴史と文化を未来へつなぎ、誰もが心を豊かに育んでいく —

令和4年度第1回社会教育委員会（定例会）を、令和4年4月22日（金）に伊那市役所で開催しました。

会議では、委員の委嘱のほか、本年度事業の取組方針について協議しました。

委員に任命された10名を紹介します。

中村 幸子 会長（富県地区）
寺田 利男 副会長（高遠町地区）
酒井 照明 委員（伊那地区）
黒河内 あけみ 委員（美郷地区）
宮原 晴美 委員（手良地区）
高見 さゆり 委員（東春近地区）
有賀 恵子 委員（西箕輪地区）
太田 伸 委員（西春近地区）
山岸 加代子 委員（高遠町地区）
中山 恵理 委員（長谷地区）

（任期：令和4年4月～令和6年3月まで）

社会教育委員会 会長からひとこと

中村 幸子（富県地区：会長）

私たちは、この三年間、コロナ禍での様々な制約の中での活動も春には、コロナ前同様の活発な活動が展開されるものと思われ、その日を心待ちにしています。

生涯学習基本構想が掲げます「歴史と文化を未来へつなぎ、誰もが心を豊かに育んでいく」理念のもと、社会教育委員も様々なイベントに参加し、参加報告書で情報共有を図ると共に、委員の皆様から推薦いただいた市内の歴史や文化、伝統に触れ学ばせていただきました。

今後も地域内での人々とのつながりを大切に、心豊かな地域づくりに貢献できるよう取り組んで参ります。この一年ご支援ご協力を賜りました地域の皆様、委員の皆様、並びに事務局の皆様にご心より御礼を申し上げます。

社会教育委員からひとこと

この4月から新たに就任しました、有賀委員さんと、山岸委員さんからひとこといただきました。

有賀 恵子（西箕輪地区）

何も分からないまま委嘱を受け不安でしたが仕事を退職した後、職場が伊那市外だったこともあり、市内や西箕輪の事をよく知らずに過ごしてしまっていた反省から、この機会に地域を感じ学んでみようと思いました。

研修会で「社会教育委員は住民と行政の間のパイプ役」として様々な実践報告があり、地域に目を向ける大切さを痛感しました。また、地域のイベントでは幅広い年代の方々が頑張っている活動されていて、私も社会教育委員としてできることからやってみようという前向きな気持ちを持つことができました。

今後ともよろしくお願い致します。



山岸 加代子（高遠地区）

社会教育委員を拝命し一年が終わりとしています。私は、今まで子どもを主体とした活動が多かったのが社会教育とは・・・と考えさせられました。何から活動したら良いかしらと考える間もなく、いろいろイベントに参加し報告書を提出する日に追われ、これがなかなか慣れず大変でした。

今年は、高遠公民館事業に参加して自分の学びを向上させようと少し頑張りました。参加する事で地域の方と知り合う機会も多くなり、少しは視野が広がったかなと自負しております。



社会教育委員 実践活動の取組

伊那市社会教育委員は、「社会教育委員による実践活動の取組」の6つの柱に沿って、活動を進めています。

6つの柱

- I 現場へ「足」を運ぶ
～机上の空論では意味がない～
- II 日頃から「手」に汗を握る
～自分がやらずして、人には言えない～
- III 市民から「顔」が見える
～存在と役割を知ってもらうために～
- IV 些細な事でも聴く「耳」をもつ
～個を知ることは、全容解明の第一歩～
- V 深く掘り下げて見る「目」を持つ
～特色を捉え、生かし、発展させる～
- VI 腹に納めず「口」に出す
～問われて答え、そうでなくても言う～



「足」を運ぶ活動 イベント等参加報告

生涯学習関係イベントや地域の行事等に参加して、感想や良かった点、問題点や課題などを報告書にまとめ、社会教育委員会議で発表することで、委員同士で情報を共有し、また、各担当部署でも、出された意見を事業へ活かしています。

本年も、コロナ禍において、イベントへの影響がありましたが、その中でも開催されたイベントに積極的に足を運びました。

報告の中からいくつかご紹介します。

○藤井璃石 書×ジオパーク展（創造館）

全国6ヶ所のジオパークの写真とそのジオパークに想像をめぐらせる四字熟語や詩歌の書が展示されていました。

長野県からは、浅間山山麓と南アルプスが紹介されていました。

藤井璃石さんの書の濃淡や書体がすばらしく、写真が展示されていたのもイメージがつかみやすかったです。

他のジオパークは、どのような書になるのか期待が持てました。

○高遠町河南地区分館～春の研修

寺巡りウォーキングと歴博講座

ウォーキングを始めるときには、雨もあがり、青空が広がり始めたなか、博物館の福澤学芸員の説明を聞きながら、博物館から武家屋敷跡、高遠石工による寺の垣根を見ながら、保科氏の祈願寺樹林寺、織田との戦いが記憶に残る桂泉院と高遠城ゆかりの寺を巡る。

歴史博物館では、特別展「高遠が誇るお寺の文化財」を見学。普段見ることが出来ない寺の書画や文書などを目にゆかりなどの説明もあり知ることが出来ました。

登り、下りと、よき運動にもなり、体にも頭にも良い研修となりました。



○夏休みおいで塾（伊那公民館）

コロナ禍であったが、子どもたちは、学習活動に集中して取り組んでいた。また、終日落ち着いた言動や態度が印象に残った。

休み時間に駐車場で、学校、学年を超えて鬼ごっこに興じている何人かの子どもたちの姿を見かけた。

例年のことであるが、4つの小学校、1年～6年の男女の子どもたちが、様々な活動を通じて5日間生活を共にすることは、学校では得られないことを学ぶ大変良い機会である。

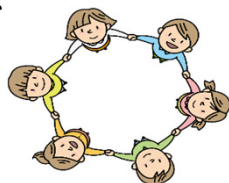
創造館や歴史博物館の見学は、感性豊かな子どもの頃に、伊那の地の自然、歴史、文化的な財産に直に関わることとなり、長い目でみると大変意義深いことと思われる。

新型コロナウイルス感染防止として、マスク着用、手指の消毒、健康観察カードのチェック、昼食時の検温、机と椅子による学習形態、黙食等の様々な対策が講じられ、「安心安全なおいで塾」になっていたと思われる。



○第9回キャリア教育かみいな交流会in伊那

上伊那広域連合の郷土愛プロジェクトが上伊那8市町村を過去8年間で一巡し、今回が2巡目という事で名前も新たに「キャリア教育かみいな交流会」と変え（以前は産学官交流）新たなステージに入ったと思いました。また伊那市の会場でもあり、市が掲げる「子ども DO 真ん中」捉えたトークセッション「今子どもと共に歩む」が6テーマ「若者（次世代）と共につくる」が5テーマ、計11のテーマでプレゼンターと「今 私が できることからはじめよう ふるさとのみらいづくり」をテーマに話し合い、それなりのコンセンサスが得られたと思います。オンライン参加者も含め参加者230名と大盛況でした。



○第44回高遠町桜大学第3講座

「パラリンピックへの挑戦

～銀メダル獲得までの道のり～

会場に入るとパラリンピックバスケットボールの最終試合、日本対アメリカの映像が映し出されていて、講演が始まるまでの時間が有意義でした。藤澤さんが、日本代表になるまでの谷あり山ありの人生を講演してくださいました。

5歳の時にとび箱より落ちて下半身麻痺になり車イス生活になったが、ご両親は常に前向きで普通学校への道を進むことができ幸せだったと話されていました。選手の中には、学校の建物の都合上、養護学校の方も多かったようです。講演されているときも、下半身に力が入らないため、肘を机について話されていました。

会場には、銀メダル・オリンピック使用のユニホーム・車いす・ボールなど展示してあり、講演終了後、「見たり触ったり自由にどうぞ」と言われ、講師の方と写真を撮ったりと賑やかな時間が良かったです。試合用のユニホームが、一富士二鷹三茄子になっていると聞かされ納得しました。

○景観ウォッチングin伊那

一黒原産業敵地～創造館～いなっせ～中心市街地～上牧古墳群～旧陸軍伊那飛行場後一

黒原からの眺望では東西に連なる山並み、伊那の地形、二つの川によってできた河岸段丘・扇状地等、雄大な歴史に触れた。創造館では特別に倉庫を見学させていただき貴重な古資料に感動した。いなっせでは屋上に上がり、伊那市の密集した街並みを防災の面等考えながら見下ろした。

初めて行った上牧里山遊歩道では多くの古墳群を目にし、そこにあったたくさんの人々の暮らしに思いを馳せた。伊那飛行場跡では、今まで知らずに通っていた道が滑走路であったかもしれない、この分厚い石壁が旧陸軍格納庫の基礎だったと驚くことばかりだった。

講師の先生方の丁寧な説明は見事で楽しく、伊那市の中心市街地を改めて知る大変貴重な体験が出来た。

私たちが住む伊那市を地形的に、歴史的に景観し、これからこういった町作りをしていったらよいのだろうと考察する機会にもなり大変に素晴らしかった。

○長谷中学校

Flower Concert～春～（長谷中学校）

晴れていれば校門の花壇の前で行われる予定であったが、雨が降ったり止んだりのはっきりしない天気だったため体育館で行われた。音楽部の8人（女7、男1）が4月から着任した新しい音楽の先生の指揮のもと明るい歌声を響かせた。

フラワーコンサートを聴くのはこれで3～4回目だが、生徒たちは格段に上達していた。以前あまり声が出ていないなあと思った生徒もよく声が出ていて成長したのを感じた。

「365日の紙飛行機」や「糸」など8曲を披露してくれた。中でも女子7名に囲まれながら男子1人頑張っている姿は印象的だった。よくやめないうで3年生まで続けてくれたものだ!!ありがとう。これからも頑張れ。



○進徳館の日式典と記念講演（進徳館）

昨年は中止された式典と記念講演が開催されてよかったと思います。多くの方が来場され、ありがたいことです。コロナ禍でいろいろな行事が中止になっていたのが喜んで参加しました。高遠小学校の校長先生のお話では、高遠小学校の素晴らしさを教えていただきました。高遠高校の発表は本当に高遠が好きだからできるガイドだと思いました。

講演も厩稲荷について、宮田で今もなお大切に保存していることを知って驚きました。また、内藤の殿様の素晴らしさを再認識しました。

○第15回武田信玄狼煙リレー

手良春日山で煙が上がった。煙は何の前ぶれもなく上がる。イベントで時間が定められているにもかかわらず、下をみたり、話をしていたりすると「あっ、上がっている」といった状態で、上がる瞬間を見のがさずにいるのは、当時の人にとっては大変なことだったろう。

狼煙の意味役割について話をしてくださり分かりやすかった。

手良太鼓の演奏もあった。野外での演奏は野趣にあふれとてもよかった。

山の上で煙が上がったのを合図に平地のグラウンド駐車場に設けられた狼煙にも点火され、地区内のリレーを受けることができた。

山の上に上がった煙は、今の世の中としては緊張感をあまり感ずるものではない気がしたにもかかわらず、帰り道に、ボランティアさんの手によって美しく咲いた手良坂の花だんに、いつも以上にほっとし、争いのない世の中であってほしいと思った。



○富県小学校一年生給食支援ボランティア

一年生が時間内に給食を召し上がれるよう、給食時の身支度、盛り付け、テーブルへの食器の配膳等お手伝いをさせていただいた。

児童のみなさんは、手洗い、身支度を整え、整列をして、給食室に給食を取りに伺い、教室まで運んできます。

給食の盛り付けは先生とボランティアが担当し、児童一人ひとりが取りに来ます。

全員に給食が配られると、全員で手を合わせ「あなたの命を、私の命にいただきます」と、今日の給食のために食材として命を提供してくれた、お肉や、野菜などに感謝の言葉を添えて、給食をいただきます。この言葉は、富県小学校伝統の感謝の言葉とのことです。

コロナ禍にあり、黙食ですが全員決まりを守り、配膳された給食を美味しくそうに食べていました。

栄養士の先生も時々、教室に足を運び様子を伺っていましたが、児童の皆さんの美味しく食べる姿に作る喜びを感じておられた事と推察いたします。

また、お昼の放送では、今日の献立について放送があり、食材が身体の何になるか等、詳しく説明をしてくれていました。

私にとって、児童の皆さんと給食を通しての交流は楽しく、加えて毎日栄養を考えて作ってくださる、給食の先生方に感謝です。



我がまちのいいところ10選研修視察

深く掘り下げて見る「目」を持つ活動、また、現場へ「足」を運ぶ活動として、各委員が地元の自然、歴史、文化などを推薦し、現地への視察研修を行っています。推薦した委員自身が講師となり、現地を案内します。

伊那市内でも、まだまだ新しいことを知ることが出来、改めて歴史や文化を感じ、学習する機会となっています。

○はびろ農業公園 みはらしファーム

平成9年にみはらしの湯が完成し、その後、みはらしいちご園、農産物直売所「とれたて市場」、農産物加工場がオープンし、平成11年6月に、ファームレストラン「トマトの木」、そばの家「名人亭」、手作りパン工房「麦の家」、竹の家「工房C00」、草木染め工房「草の家」の整備が整い、みはらしファームグランドオープンとなり、開園初日から、県内外の大勢の来園者で賑わいました。

現在も、体験交流施設「やってみらっし」（県内でも珍しい200人収容できる大型体験施設）、トマトの木「BBQガーデン」、マウンテンバイク体験「C.A.B. TRAIL」、ウッドクラフト「木棲舎」、「ドックラン」、「マレットパークはびろ」等、その他にも様々な体験施設等が設置されており、伊那市を代表する人気の農業公園となっています。（西箕輪羽広）



○上伊那クリーンセンター

上伊那クリーンセンターは、2019年3月に竣工し、上伊那地域のごみを安全で安定的に処理しています。

本施設では、環境負荷が少なく、エネルギー効率の高い「流動床式ガス化溶融炉」を採用し、「灰を溶融して最終処分量を減らす」ことと、「省エネルギーでCO2排出量が少ない」ことの両方をかなえる環境にやさしい処理システムとなっています。

施設では、見学者ルートや大会議室のスクリーンなどで、ごみの処理過程について、子どもから大人までわかりやすく学習できます。

その他、施設内には、施設見学者や住民の皆様が利用できる足湯やマレットゴルフ場等があります。（富県桜井）



○かんてんぱぱガーデン（伊那食品工業㈱）

かんてんぱぱガーデンは、働く社員や地域の人が安心して憩える空間を・・・



という想いのもと、1989年に生まれました。訪れる人々に新緑や紅葉、山野草を楽しんでいただくため、毎朝、社員の皆さんが手入れを行っています。

かんてんぱぱショップをはじめ、寒天料理や地元名物が味わえるレストラン、入場無料のミュージアムや健康チェックができる施設もあり、広々としたガーデンです。。

また、伊那食品㈱は、社是を「いい会社をつくりましょう ～たくましく そして やさしく～」とし、時代とともに経営手法は変化しても、企業の社会的責任と義務、会社は人間のためにあるという本来あるべき姿を忘れない経営を常に目指しています。（西春近）

○龍澤山 桂泉院

前身は法幢院。

文禄元年（1592年）群馬県松井田補陀寺の住僧荊室廣琳和尚が高遠に来て、補陀寺の末寺に。



城郭内のため自由な出入りができず、和尚は城外の坂町村龍ヶ澤に庵を建てます。ある夜、老人が和尚を訪ね、「戒法のかたじけなきを授け知らせ給え」と求め、和尚が受け給うと、老人は瞬間に白竜となり、「玉かしわの窪みに、いと清き泉をわき出さしめ候て、法施に報い奉らむ」と曰い、清らかな泉がほとぼしり出ました。

慶長9年、この話に人々は和尚の高徳をたたえ、城内内藤修理亮昌月とともに、法幢院の堂宇を龍ヶ澤に移し、龍澤山と号し、泉わき出ずる桂の木のそばであったから「桂泉院」と名付けられたと言われています。

桂泉院では、仁科五郎盛信の位牌堂、鐘楼の梵鐘、守屋貞治の石仏等々、多くの歴史を感じることが出来ます。（高遠町東高遠）

山崎恭子 前委員が表彰されました

長年、社会教育委員としてご活躍いただきました高遠地区の山崎恭子さんに、長野県社会教育委員連絡協議会から表彰状が授与されました。令和4年6月15日(水)に行われた、長野県社会教育委員連絡協議会総会での表彰式は、都合によりご欠席でしたが、後日、事務局からお渡ししました。

山崎さん、3期6年にわたり伊那市の社会教育推進にご尽力いただき、ありがとうございました。今後ともよろしくお願い申し上げます。

○会議で発言をする山崎さん



山崎さん
お世話になりました



社会教育委員の会議等の様子

○第1回社会教育委員会会議の様子



○教育委員との懇談会



○い〜なチャンネルで社会教育委員を紹介

～歴史と文化を未来へつなぎ、誰もが心を豊かに育んでいく～

伊那市社会教育委員だより

編集・発行 伊那市教育委員会生涯学習課
〒396-8617 伊那市下新田3050番地
電 話 : 0265-78-4111 (内線2721)
F A X : 0265-72-4142
Eメール : sgs@inacity.jp

お問い合わせなどは
こちらへ

